

なみまるくん

うみ・なかま
コミュニケーション

Hokkaido Gyoren Magazine Number 270 April 2011

4



特集

**ぎょれんの中期的事業推進方向・
平成23年度事業計画 ～前編～**

北海道ぎょれんウェブサイト
<http://www.gyoren.or.jp/>

2

特集

ぎょれんの中期的事業推進方向・ 平成23年度事業計画 ～前編～

8

東北地方太平洋沖地震被害に対し道と在札系統5団体で
合同対策本部会議を設置

10

なみまる社会科見学

12

なみまるインフォメーション

14

頭すっきり!! ブレイクタイム

15

おまかせ設計センター

16

クローズアップ宣伝事業

17

浜だより

冬晴れが広がる地球岬灯台



このたびの東北地方太平洋沖地震は、東日本各地に未曾有の被害をもたらしました。尊い命を失われた皆様のご冥福をお祈り致しますとともに、被災された数多くの方々に対し、心からお見舞いを申し上げます。

北海道においても、漁船はもとより漁業関連施設に甚大な被害をこうむりました。被災された漁協、生産者等の皆様に、心からお見舞いを申し上げます。北海道の漁協系統と致しましても、関係行政等とも連携の上、出来うる限りの支援体制を講じて参る所存であります。

四月上旬とはいえ、まだまだ寒い日もございます。皆様にはくれぐれもお体を大切にされまして、一日も早い復興を心からお祈りし、お見舞いのご挨拶とさせていただきます。

北海道漁業協同組合連合会

代表理事会長

櫻庭武弘



ぎよれんの中期的事業推進方向・ 平成23年度事業計画 ～前編～



ぎよれん 西副会長



平成23年度の始めにあたり、ぎよれん西副会長に、ぎよれんの中期的事業推進方向と平成23年度事業計画について伺いました。4月号・5月号の2回にわたりご紹介します。

ぎよれんの

中期的事業推進方向

北海道漁業が大きな転換期を迎える
中で、中期的事業推進方向を策定

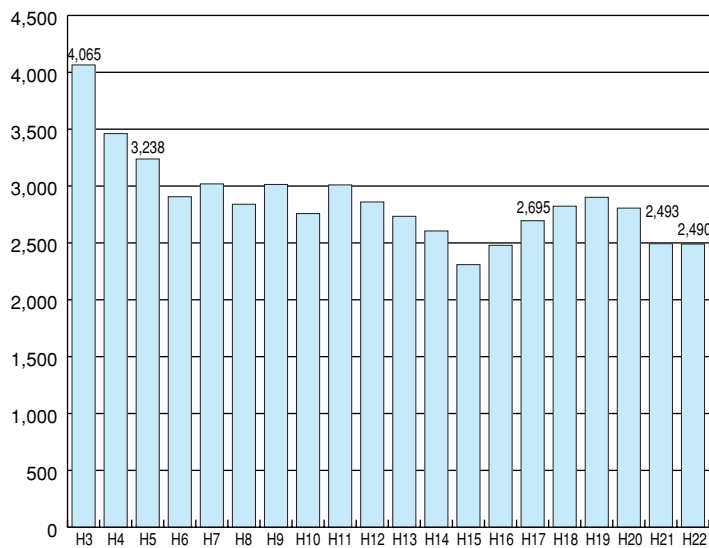
国際化（グローバル化）が進展し、北海道漁業が大きな転換期を迎える中で、ぎよれんでは、平成23年から25年の向こう3年間にわたる中期的な事業推進方向を策定しました。

近年比較的安定していた北海道漁業生産は、海洋環境の変化等によりやや陰りが見え、漁業生産者の減少や高齢化の進行など、漁業経営環境は厳しさが増えています。

加えて3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震は、東日本全域に未曾有の被害をもたらしましたが、北海道においても甚大な漁業被害が発生しました。我が国の漁業構造を大きく変えることが予想され、一日も早い復興とともに、オール水産としての抜本的な取り組みが不可欠な状況になっています。

このほか日本のTPP参加検討問題から、貿易自由化問題が急浮上し、北海道漁業においても大きな打撃を被ることが懸念されています。

全道漁獲金額の推移 ～全道水揚げ2500億円水準に～



北海道水産現勢より(平成22年は速報値)

す。完全自由化による本道漁業への影響回避に向け、組織を挙げた運動を展開し、同時に競争に打ち勝つ、力強い本道漁業の確立に向けた取り組みも急務となっています。

浜が要望していた資源管理・漁業所得補償対策が今年度からスタートし、国の漁業経営安定制度の充実が図られましたが、本道漁業は依然として過年度来からの諸課題が山積しています。

国内需要の低迷と海外消費増大
という2極化が進んでいます

世界的な水産物需要の増大により、既に道産水産物の3割が輸出される時代を迎え、急激な円高下においても、輸出が堅調に推移するなど国際的な需給環境は急激な変化をみせています。日本国内は既に人口が減り始め、長引くデフレ不況、消費の低迷等で低価格志向が続くなど、まさに海外消費と2極化の相を呈しています。このように漁業経営の安定化の大きな柱である水産物の魚価・消流の安定のためには、国内消費の安定確保と海外マーケットの重要性が一段と高まりを見せています。このほか漁業と車の両輪である産地加工機能の低下も依然として続いており、生産から加工・流通・消費に至る各分野において多くの課題を抱えています。

食料供給基地北海道の役割は
ますます重要になっています

世界的に人口が急増する中、国際的な食料事情の深刻化が懸念されています。既に世界の漁業生産は頭打ちで、天然水産物を供給す

る食料供給基地「水産王国北海道」としての役割の重要性は、ますます高まっていくと思われる。

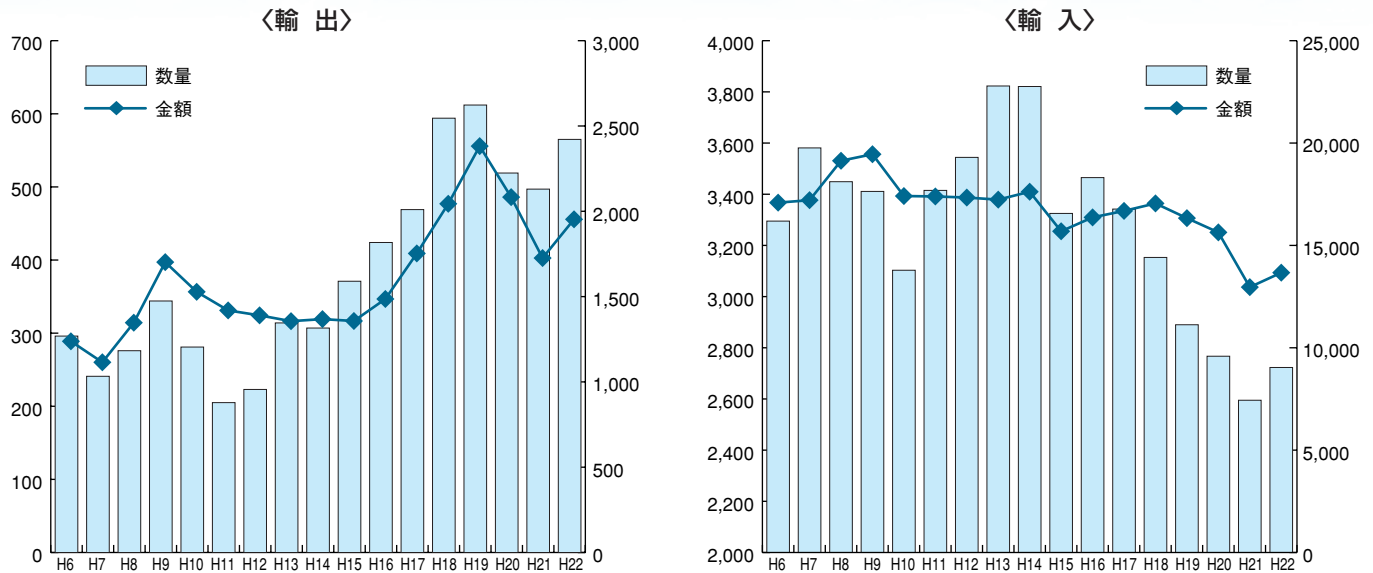
押し寄せる国際化の荒波に対し、浜が一枚岩となつて難局を乗り切り、将来にわたって魅力のある本道漁業の基盤を築き上げる上で、今がまさに正念場です。ぎょれんは浜の負託に応えるため組織を挙げて、浜とともに本道漁業の振興と発展のため、事業推進に全力を投入していきます。

中期的事業推進重点スローガン
～浜のために・浜とともに～

- グローバル(国際化)戦略の強化
- 人づくり・物づくり・ネットワークづくり
- 企業の社会的責任(CSR*)の実践

*Corporate Social Responsibilityの略で企業の社会的責任の意味。

日本の水産物輸出入動向



漁業経営と漁協経営の強化に向けた指導事業の拡充強化

【漁政活動】

1. 国の水産基本計画策定に向けた北海道としての政策提言と実現化に向けた取り組み強化
2. 水産物貿易自由化問題への的確な対応
3. 漁業経営安定対策の強化に向けた取り組み
 - (1) 資源管理・漁業経営安定対策の拡充強化
 - (2) 燃油セーフティネット構築事業の拡充
4. 資源の持続的利用促進に向けた取り組み強化
5. 環境生態系保全活動の強化

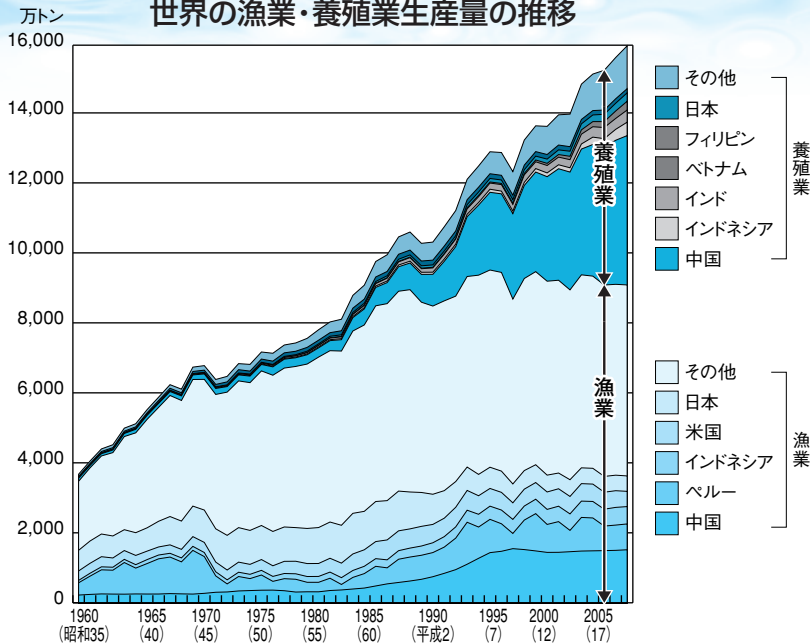
【指導教育活動】

1. 漁協経営基盤の強化、経営健全化に向けた取り組みの継続強化
 2. 全国監査機構への参画を視野に入れた指導監査業務の機能強化
 3. 中期的視点に立った組合員・漁協役職員の教育研修の充実と協同組合意識の高揚運動の強化
 4. 本会指導教育機能の段階的拡充
- 【環境保全活動】**
1. 有害生物漁業被害対策の強化
 2. 河川・海洋汚染等の漁場環境保全対策の強化
 3. 本道周辺の海洋環境保全対策の強化
 4. 豊かな漁場形成に向けた森林環境保全対策の継続推進

漁業経営の安定化に向けた魚価・流通対策の拡充強化

1. 産地市場における魚価・流通安定対策の拡充
 - (1) 漁協系統の鮮魚取扱機能、広域販売機能の継続強化
 - (2) 地域基幹魚種対策の推進
 - (3) 鮮魚情報ネットワーク化の推進
2. 漁協・系統グループ加工機能の拡充強化
 - (1) 直営工場、漁協系統工場、提携および協力加工業者との組織的連携強化
 - (2) 品質・衛生管理体制の強化
3. 国内製販売機能の更なる拡充
 - (1) エンドユーザー（末端実需先）を見据えた販売ネットワークの拡充
 - (2) 組織的提案型営業機能の拡充
 - (3) 販売戦略と一体となった販促活動の推進
4. 海外輸出事業の拡充強化
 - (1) 本会（含む関連会社）会員と一体となった輸出機能の拡充強化
 - (2) 加工向け原料から量販店・業務筋等向け製品輸出に至るまでの輸出品目および業態の多様化
 - (3) 新規海外販路の拡大
5. 品目別販売戦略の強化
 - (1) 基幹品目（秋鮭・はたて・昆布）関係団体等との連携を含めた国内外加工・販売対策の強化

世界の漁業・養殖業生産量の推移



資料:FAO「Fishstat (Capture production 1960-2008)
(Aquaculture production 1960-2008) (日本以外の国)
及び農林水産省「漁業・養殖業生産統計年報」に基づき水産庁で作成

漁協系統購買事業の展開

- (2) 一般魚種・品目生鮮流通から加工原料・末端商品に至るまでの加工・販売対策の拡充

1. 系統燃油事業の更なる強化

- (1) 全漁連を核とした系統燃油の価格優位性発揮のための利用率向上と安定供給体制の継続確保
- (2) 燃油タンク施設の再編整備と計画的補修整備

2. 良質廉価な系統ブランド資材の更なる普及拡大

- (1) 浜と一体となった開発体制の強化と組織的普及活動の推進

- (2) マリノサポートの活用を含めた系統としての営業推進機能の拡充

3. 関連会社との連携による事業開発・設計機能の拡充

- (1) 生産現場の省力化等に向けたシステム・機器の開発普及

- (2) 環境負荷・コスト低減に向けた技術・工法の構築等の、施設整備・改修コンサルタント機能強化

浜のための各種事業対策を推進する 本会経営体制の更なる強化

1. 共販体制の強化、系統利用率の向上による安定経営基盤の更なる強化
2. 計画的な内部留保による財務基盤の強化と会員配当の継続
3. 企業の社会的責任(CSR)の実践に向けた組織を挙げた取り組み
4. リスク管理・業務効率化・経費削減に向けた取り組み強化
5. 費用対効果を勘案した必要最小限の設備投資
6. 人材の育成強化と教育研修の計画的実施
7. 関連会社の経営健全化と本会との一体的経営による更なる機能発揮

平成23年度事業計画

平成23年度事業計画の考え方

本道漁業はグローバル化を迎える中、依然多くの課題が山積しています。平成23年度は水産物貿易自由化問題への対応、国の水産基本計画の見直しに向けた取り組みなど、本道の漁業経営・漁協経営にとって重要案件を抱えており、本道漁業は大きな転換期を迎えています。加えて中東情勢を反映した原油価格上昇のほか、世界最大級の東北地方太平洋沖地震による甚大な漁業被害の発生など、当初想定外の課題に遭遇しており、一段と厳しさが増しています。

こうした情勢の下、平成23年度の事業計画策定にあたっては、本道漁業の振興と発展に向けて、「中期的事業推進方向」の考え方に基づく初年度として、浜との紐帯をより強固にしながら、組織を挙げ各事業の推進に全力を投入していきます。

指導事業について

1. 漁政対策

本道漁業は諸課題が山積する中、新たな貿易自由化に向けた動きが加速するなど、取り巻く環境は依然として厳しい状況です。貿易

自由化問題については、今年大きな山場を迎えることから、本道漁業への影響回避に向け、組織を挙げた取り組みを行うとともに、国の次期水産基本計画の策定に向け、中期的視点に立った漁業振興策の確立等、真に浜の実状に即した諸施策の提案と実現を図っていきます。

(1) 国の次期水産基本計画に対する北海道としての政策提案実現の取り組み

① 本道漁業の振興策を計画へ反映させるための取り組み

② 実態に即した漁業関連法制度改正への対応

(2) 水産物貿易自由化問題への組織的取り組み
① 包括的経済連携（EPA、TPP等）の動向掌握と本道漁業への影響回避に向けた組織的対応

ア・全漁連等との連携によるTPP参加検



昨年11月に行われた「この国のかたち」を問う道民総決起大会ではTPP交渉断固阻止を訴えました

討問題に対する組織を挙げた運動展開
イ・EPA、FTA交渉での主要水産物の適用除外への取り組み

② WTO交渉の動向掌握と的確な対応

ア・WTO交渉非農産物市場アクセス分野におけるI/Q制度の的確な取り扱い確保

イ・ルール交渉における漁業補助金の的確な取り扱い確保
ウ・ロシアのWTO加盟後の影響への対応

(3) 漁業経営安定対策に向けた取り組み

① 総合的な漁業収入安定対策の充実強化

ア・新たに創設をみた資源管理・漁業所得補償対策の恒久化と関連する漁業共済制度改正に向けた取り組み
イ・漁業コスト安定に向けた燃油セーフィ

ティネット構築事業の拡充ならびに、燃油の免税措置の確保への取り組み
② 水産資源増大のための種苗生産、放流事業等の生産振興施策の拡充に向けた取り組み

③ 国の魚価・流通安定対策事業の強化への取り組み
④ 省エネ、漁業構造改革推進のための経営体質強化への取り組み

⑤ 有害生物（トド等海獣、大型クラゲ・ザラボヤ等）による漁業被害軽減対策への取り組み

(4) 水産資源の持続的利用と資源に見合った操業体制の確立に向けた取り組み

① 資源の回復、増大に向けた実効ある支援制度の実現とTAC制度運用の見直等の資源管理強化への取り組み

② 四者協議（国、道、沿岸、沖底）及び沿岸・沖底との各種漁業者実践協議会等の開催による資源に見合った操業体制の確立のための協議促進

③ 資源と経営に見合う生産構造体制の実現に向けた取り組み

④ 資源管理協定による資源回復・管理施策への継続取り組み

⑤ 密漁防止・遊漁対策の強化

(5) 環境生態系保全活動の拡充（水産業・漁村の多面的機能の増進）

① 北海道周辺海域の資源生産力の向上を図るため、藻場・干潟の造成及び維持管理の取り組みの拡充強化

② 離島漁業再生交付金事業の拡充による漁村集落等、地域活動に対する交付金制度の創設

2. 漁場環境保全対策

環境本部との連携により、森・川・海のつながりを重視して安全・安心な道産水産物の安定生産確保の基盤となる漁場環境保全に取組みます。また、本道海域はもとより、近隣国からの汚染を防止するための海洋環境保全対策に取り組むとともに、海洋環境全般にわたる広範な情報収集を促進します。



今年2月に見られたニシンの「群来」(小樽市)

(1) 有害生物(大型クラゲ、トド等海獣類、ザラバヤ等)による漁業被害対策の推進

- ① 関係行政機関・団体等と連携した被害対策の推進
- ② 有害生物漁業被害防止総合対策事業の有効利用による対策の充実強化

(2) 河川・海洋汚染防止のための環境保全対策の継続強化

- ① 河川関連工事に伴う泥土砂流出防止対策(水質調査・パトロール)、環境保全協定の締結促進、並びに工場・事業場等の排水処理対策の推進
- ② 各種工事関係者並びに行政機関に対する濁水防止研修会の開催

(3) 酪農系・農業系排水による河川・海洋汚染防止対策の促進

- ① 農業関係団体・行政機関との全道レベルでの対策協議の継続
- ② 地区毎の農協・漁協等の協議促進

(4) 森・川・海の連携による豊かな漁場づくりのための森林環境保全対策の推進

- ① 「協働の森林づくり」による植樹・保育活動と啓発普及活動の促進

(2) コープさつぼろとの連携による植樹・保育活動の推進

(5) 海洋環境保全ならびに海洋環境情報の収集

- ① サハリン原油開発事業者や現地政府との定期協議等を通じたサハリン油田等の油流出事故防止対策の推進
- ② 本道周辺海域における油流出事故発生時の防除体制強化
- ③ 本道周辺海域の海洋環境情報の収集、並びに地球温暖化による影響等、各種の環境情報の収集

3. 指導・教育事業

厳しい漁業・漁協経営環境に対応するため、協同組合運動に根ざした力強い漁協づくりを目指し、漁協経営の健全化を図るとともに、浜の人材育成に取り組みます。

(1) 漁協経営改善指導の重点の実施

- ① 漁協経営強化推進本部を通じた関係機関との連携による対象漁協への指導
- ② 本会関連部署並びに系統各連との連携による事業強化と経営健全化に向けた取り組みへの指導、支援

(2) 漁協の業務運営適正化に向けた本会監査の充実

- ① 内部けん制の整備状況に重点を置いた部分監査の導入並びに改善指導の充実強化
- ② 「JF全国監査機構・北海道監査部」設置を見据えた監査の充実と体制整備

(3) 教育研修活動の充実

- ① 新たに製作した協同組合運動啓発DVD「協同の力」等の漁協における有効活用の促進
- ② 漁協役員研修(地区・ブロック開催)の参加率向上に向けた取り組みと内容充実
- ③ 職員研修の研修項目重点化による内容充実

ア. 全道階層別研修(スキルアップ、協同組合運動等)

イ. 地区・ブロック職種別研修(税務・法務等実務項目)

④ 漁協青年部・女性部活動の一環としての協同組合運動に関する啓蒙促進

(4) 指導教育部門の機能強化

- ① 産地支店における相談窓口機能の段階的強化
- ② 指導部門ホームページによる情報提供機能の充実

5月号では、平成23年度事業計画の販購買事業などについてお伝えする予定です。



東北地方太平洋沖地震被害に対し 道と在札系統5団体で 合同対策本部会議を設置

平成23年3月11日に三陸沖で発生した東北地方太平洋沖地震により、北海道沿岸の漁船や養殖施設など、水産関係を中心に史上最大ともいわれる被害をこうむっています。被害は深刻化しており、今後、漁業へ与える影響が懸念されています。

このため、「東北地方太平洋沖地震北海道水産被害合同対策本部会議」を地震発生翌日の3月12日に緊急に設置しました。同対策本部は、道と在札系統5団体とで構成され、本部長には高原道副知事と櫻庭ぎよれん会長が就任しました。合同対策本部では、被害状況の重複収集を避けるため、道が一元的に情報収集・管理を行い、災害復旧をはじめとした被害関係の諸対策は、道と在札系統5団体が一丸となって検討・推進していきます。





在札系統5団体では、3月15～16日にかけて、地震の被害を受けた渡島、胆振、日高、釧路、根室地区の漁協を3班に分かれて訪問、各漁協から被害の様子や要望を伺い、系統からは支援等に関する説明を行いました。

3月22日現在の被害状況

- 漁港・漁港海岸・漁場（港湾）被害…135件
- 水産関連施設被害（共同利用施設・事務所含む）…268件
- 漁船被害…714件
- 養殖施設被害…延べ29組合（実組合数は16）
- その他…159件

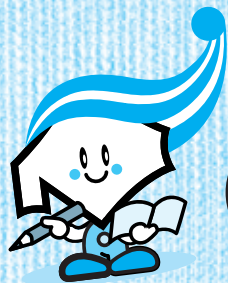
東北地方太平洋沖地震被害 義援金募金のお願い 『がんばれ漁業募金』

JF全漁連では、東北地方太平洋沖地震で被災した漁業者、漁協等の復興を支援するため、「がんばれ漁業募金」として義援金を募集することになりました。

これを受け北海道漁協系統では、本趣旨に大いに賛同し、本道漁協系統組織を挙げて、組合員、漁協並びに役職員個々の意思に基づき募金活動を実施致します。

なお、北海道においても今回の地震災害に遭われた組合員、漁協もおられますので、今般の募金活動につきましましては、それぞれの実情をご判断の上、ご厚志を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

- ・募金目標額…全国で総額10億円
- ・募金期間…平成23年5月16日(月)まで
- ・募金は各漁協でとりまとめますので、漁協までお願いします。
- ・この募金に関するお問い合わせは、各漁協をお願いします。



なみまる社会科見学

第4回

(社)北海道栽培漁業振興公社 伊達事業所



(社)北海道栽培漁業 振興公社伊達事業所

概要

- 住 所 伊達市長和町234番1
- 設 立 平成17年

マツカワの種苗生産施設について設置

社団法人北海道栽培漁業振興公社は、昭和54年に道内の漁協系統団体、漁協、関係市町村を会員として設立されました。沿岸漁業における栽培漁業の積極的な推進のため、道が建設した種苗生産施設の運営母体として、札幌にある本所の外、全道6箇所に事業所を展開しています。その中で平成17年2月に設置されたのが伊達事業所です。

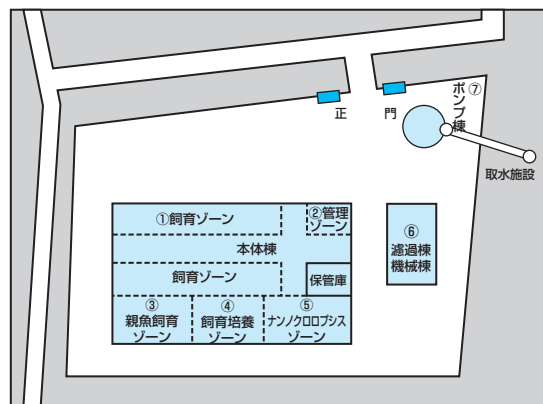
今回訪れた伊達事業所は、「マツカワ」の種苗生産が主な仕事です。管理、飼育、親魚の



北海道栽培漁業
振興公社伊達事業所
川下所長

「なみまる社会科見学」では、漁業や水産に関係する施設などを訪ね、ご紹介するコーナーです。第4回はマツカワの採卵作業のピークを迎えた、北海道栽培漁業振興公社伊達事業所を訪れ、川下所長に案内していただきました。

水槽、餌のプランクトンを培養する施設など、従来はそれぞれ別棟で構成していましたが、一つの建物に集約し利便性が向上しました。幅の広い百メートルほどの中央通路が施設内を横断、稚魚出荷の際に12トントラックの動線が確保され、搬出入しやすい構造になっています。さらに隣接する伊達火力発電所から

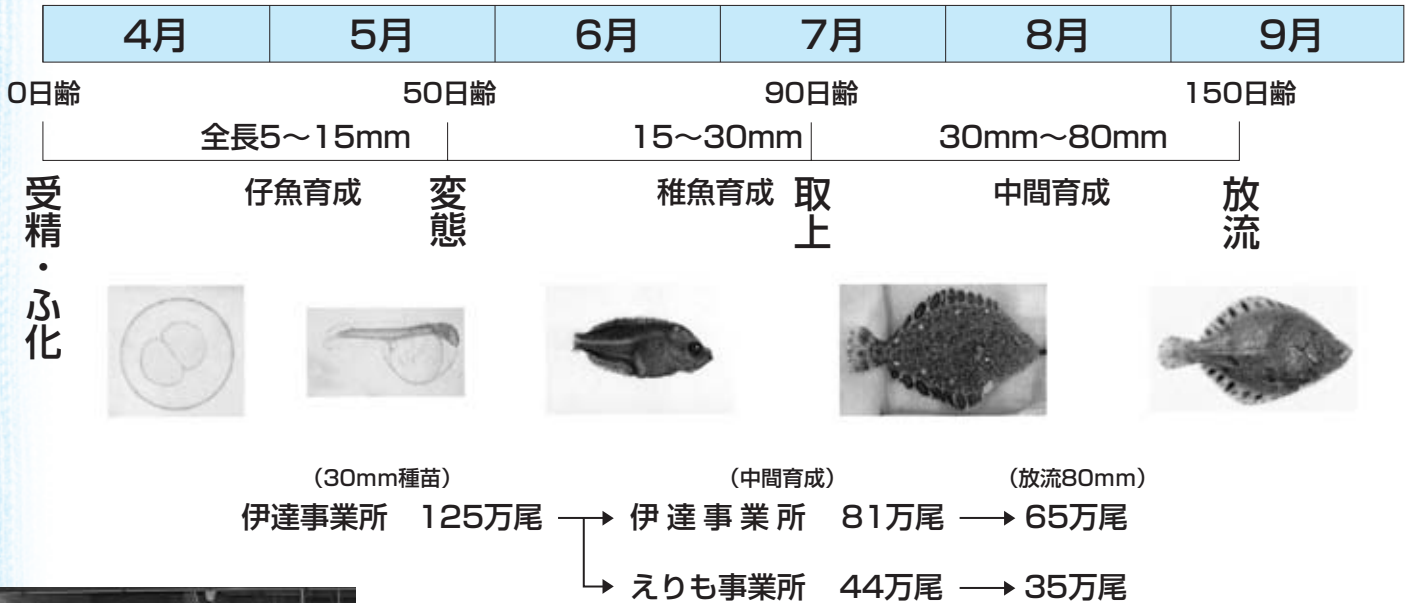


- ①飼育ゾーン
12tトラック動線を中央に確保
搬出入しやすい前面に配置
- ②管理ゾーン
メインアプローチに近い位置に配置
- ③親魚ゾーン
刺激を避けるため、日常的な作業エリアからは離れた「奥」に配置

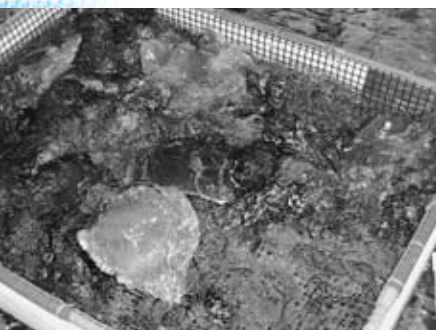
- ④餌料培養ゾーン
ナンノクロロプシス、親魚、飼育培養
いずれのゾーンからも近い中央に配置（動物プランクトンを培養）
- ⑤ナンノクロロプシスゾーン
日照確保のため南端に配置（植物プランクトンを培養）
- ⑥濾過機械棟
振動や音に配慮し本体棟とは別棟
- ⑦ポンプ棟
取水口から最短距離に配置



種苗生産・中間育成・放流のスケジュール



採卵に適したマツカワを選びます



採卵直前のマツカワ



卵をしぼった後は再び水槽へ



川下所長をリーダーに
採卵・受精作業のチームワークは抜群

海水を取水しており、従来の海からの直接取水と比較して大きくコストダウンしています。

年間100万尾の種苗を安定生産

マツカワの種苗生産は、3月の採卵からスタートし、親魚から卵と精子を取り受精・ふ化させます。受精卵は10日前後でふ化し、7月頃には3センチの大きさに育ちます。125万尾を供給しています。その後2ヶ月半程で放流サイズの8センチまで中間育成し、9月には道南の南茅部から胆振鵜川までの海域に65万尾を放流します。えりも事業所で中間育成し日高管内で放流する35万尾と併せ、計100万尾を放流しています。年間100万尾の種苗生産は従来の10倍の量であり、従来行われてきた手法はそのまま通用せず、生産を始めた頃は試行錯誤の連続でしたが、現在は

軌道に乗り安定生産されています。

マツカワは栽培漁業の優等生

全国では様々な魚種の種苗放流をおこなっていますが、回収率は10%未満です。数年にわたる放流の結果、マツカワは広域で確認されるようになり、約10～15%が漁獲されていると報告されています。現在の形で放流を開始した当初の漁獲量は19トンでしたが、漁獲量は毎年増え続け、今年度は130トン以上に達する見込みです。このように順調に放流を重ね、漁獲量に確実に結びついている放流魚種は珍しく、栽培漁業の優等生として知られるようになってきました。

今後も栽培公社伊達事業所では、健康な稚魚の安定放流に努め、浜の皆さんに一匹でも多く水揚げして頂き、より多くの皆さんに親しまれるマツカワになって欲しいと願っています。

Information 1

第16回全国青年・女性漁業者交流大会開催

北海道からの2題は惜しくも入賞逃す

3月1～2日の2日間、東京都千代田区にあるグランドアーク半蔵門において、第16回全国青年・女性漁業者交流大会が開催されました。この大会では全国から青年・女性漁業者が集い、その地区の代表者が日頃の研究実践活動の成果を発表しました。資源管理・資源増殖、漁業経営改善、流通・消費拡大、地域活性化、多面的機能・環境保全の5部門に分かれ、計48の発表について審査が行われました。北海道からはサクラマスの船上活締めに取り組んでいる、ひやま漁協熊石支所の佐藤啓さん、ニシンの資源増大と魚食普及活動をテーマとした、石狩管内漁業士会の中井寿美子さんが参加しましたが、惜しくも入賞を逃しました。審査員は総評で、年を経るごとに、研究・実践活動報告の全体的なレベルが高くなっており、入賞は僅差であったという審査結果を踏まえ、今後の漁業者の取り組みに対し期待を寄せていました。



ひやま漁協熊石支所
佐藤さん



石狩管内漁業士会
中井さん



2日目は大会場に全員が集まり、
審査結果の発表などが行われました

Information 2

なぎさの守人(もりびと)シンポジウム2011開催

「里海」の大切さを改めて感じる

2月28日(月)、東京にあるグランドアーク半蔵門において、なぎさの守人(もりびと)シンポジウム2011が行われました。まず主催者を代表して全漁連長屋常務が、「近年の北海道のニシン、マツカワは資源回復の良い例で、人が手をかけ育てる「里海」の大切さを証明しています。」と挨拶しました。続いてカナダ出身で国連大学高等研究所のあん・まくどなるど氏が、全国の漁村に寝泊りし歩いて調査し感じたことを中心に講演を行いました。その中で、日本の漁村には自然と共存する姿が各地にあり、このことを再認識することが、なぎさを再生する一つの鍵になると指摘しました。パネルディスカッションでは、長万部ほっき貝漁場環境保全委員会の有賀智さんをはじめとする全国8名の「なぎさの守人」が保全活動の内容を紹介、シンポジウム全体を通じて、里海の大切さを感じる機会となりました。



全国の漁村を調査したあん・まくどなるど氏



会場には予定した人数を大幅に超える人が参加しました

Information3

平成22年度小樽地区三連合同研修大会開催

会場が健康に効く笑いに包まれる

3月2日（水）に小樽市のグランドパーク小樽において、平成22年度小樽地区漁協購販・マリンバンク・JF共済推進委員合同研修大会が開催され、各推進委員など70名余りが参加しました。木村小樽地区購販推進委員長が挨拶した後、『クイズ de 研修』では参加者が各事業のクイズ15問に挑戦、各連支店長の解答と解説を聞き各事業への理解を深めました。また札幌在住の落語家笑生十八番（しょうせいおはこ）氏の講演『健康落語～笑うとなぜ健康にいいのか～』では、病院が舞台となった落語が披露され、会場は「脳をリフレッシュして健康になれる」という効果があるとされる「笑い」に包まれました。



高座をおりて講演をする笑生十八番氏

Information4

平成22年度全道漁協トップセミナーを開催

これからの地域活性化をテーマに研修

3月4日（金）、札幌の第2水産ビル8階大会議室に全道の漁協幹部役職員など約130名が集まり、平成22年度全道漁協トップセミナーが開催されました。講演は「高齢化や人口減少の中で、どう地域を活性化していくか」をテーマに、関西大学の白石教授は「日本の健康の鍵は漁村が握る！」と題し、今後の地域振興は、独自の資源や生活文化の特徴を活かし、産地からの情報発信や消費地等との交流を図りながら6次産業化を進めることを中心に話題提供し、北海道大学の井上教授は「北海道経済の今後について」と題し、北海道は道央圏への集中ではなく、道内各地を拠点とした地域づくりの大切さをテーマに講演を行いました。



講師を務めた白石教授（関西大学）（左）と井上教授（北海道大学）（右）

Information5

平成22年度全道漁協指導部門担当省会議開催

4月から総合的な漁業所得補償制度始まる

2月25日、札幌市の札幌グランドホテルで、全道漁協の総務・指導担当職員などおよそ120名が参加し、平成22年度全道漁協指導部門担当省会議が開催されました。水産庁漁政部森企画課長が平成23年度水産予算と政策について、資源管理・漁業所得補償対策を中心に解説、道水産林務部がその実務的対応について説明しました。4月より、漁業経営セーフティネット事業と組み合わせた総合的な漁業所得補償制度が始まり、多くの漁業者の加入が期待されます。今後ともぎょれんではセーフティネットの内容拡充と漁業所得補償制度の次年度以降の継続・恒久化に向け取り組みを継続していきます。



会議では各漁協の担当者に向けた実務的な説明が行われました



プレイタイム

クロスワードパズル

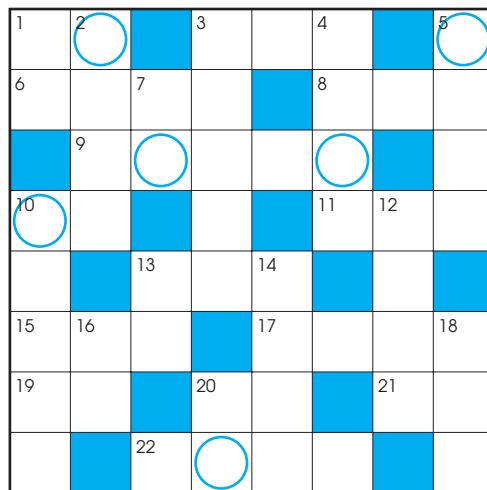
次のクロスワードを完成させ、○印に当たる言葉をうまく並べてください。くしゃみ、鼻水、目のかゆみなど、近年アレルギー症状のある人が増えていますね。

タテのカギ

- ①海に潜り海産物を採る女性
- ②赤いちゃんちゃんこを来てお祝います
- ③これをする人をハイカーと言います
- ④力の強い者が必ず勝つとは限らない「○○○○は時の運」
- ⑤公園や庭園などにある水が噴き出す設備
- ⑦ピンと共にリサイクルしましょう
- ⑩獲物は主にアサリ
- ⑫「筍」と書きます
- ⑬反対語は「地味」
- ⑭短気
- ⑯おにぎりに使う黒い海藻
- ⑰色気よりも?
- ⑱プロ野球「読売○○人軍」

ヨコのカギ

- ①旅の○○は温泉で流して
- ③弾んだり、昔のだったり、花が咲いたり
- ⑥開花率 100 パーセント
- ⑧あらかじめ決めておく経費
- ⑨祝日休みが続きます
- ⑩ 1 年に 4 つあります
- ⑪ステージ
- ⑬歯周病になるところ
- ⑮ご来光ってなんのこと?
- ⑰東北地方の呼び名
- ⑲寿司に付いている漬物
- ⑳新聞の社会面おこと「三面○○」
- ㉑端午の節句に空を舞います
- ㉒ホテルではない日本の宿



正解者の中から抽選で 5 名の方に図書カードを進呈いたします。ハガキ、FAX もしくは電子メールに答えと浜のたより及びご意見・ご提言など、住所・氏名・年齢を書き添えて、どしどしご応募ください。

応募いただいた方の個人情報は、クイズ当選者への図書カード進呈と、広報なみまるくん「浜だより」の、おたより掲載（氏名・市町村名）にのみ、使用いたします。

応募先

〒060-0003 札幌市中央区北3条西7丁目1番地
北海道漁業協同組合連合会 総務企画部 広報担当
* FAX番号 011-(242)-3543 (4月15日消印有効)
* 電子メール info@gyoren.or.jp

解答 となります。

マ	ホ	ツ	カ	イ	マ
ド	ウ	ガ	ウ	キ	ヨ
カ	イ	ダ	ン	イ	カ
ア	コ	イ	ト	コ	ガ
サ	ア	ブ	シ	ユ	ミ
ヒ	ナ	マ	ツ	リ	イ
サ	チ	ク	ス	ノ	キ
タ	ケ	ヤ	ブ	ソ	ウ

3月号の解答と当選者 ユキドケ

(小樽市) 宮古登美子さん
(帯広市) 中島 篤子さん
(厚岸町) 蓮上 智子さん
(根室市) 高井 柊さん
(斜里町) 植木 好美さん

間違いさがし

間違いは6つです。

※右と左の絵には、6か所の異なるところがあります。
さあ、見つけてください。(印刷のズレや汚れは関係ありません。)



※答えは17頁にあります。



(株)ぎょれん設計センターが住宅に関するベストアドバイス!

なまかせ設計センター

グッドジョブ
「プロの仕事」

今回はぎょれん設計センターが手掛けた最新の作品をご紹介します。



小樽市漁協製氷冷凍工場・付加価値施設

小樽市漁協では製氷冷凍施設の老朽化が進み、修繕費用の増加等により、施設の見直しが急務となっていました。ぎょれん設計センターが設計・監理を担当しこのほど完成しました。



〈新しい製氷冷凍工場に対する考え方〉

- ・従来の施設より規模を縮小する。
- ・最新の砕氷自動払出装置を導入して、小口(10キロ)から大口まで幅広いニーズに対応。
- ・海水滅菌装置を導入し海水氷を製造。
- ・直接船に積み込めるエア搬送を採用することで、雨水や異物混入などを防ぐ。

衛生面での信用が高まることで、高鮮度で安全・安心な水産物を出荷可能に!



製氷室内



付加価値施設は未利用魚の加工品の研究開発、しゃこの梱包や活魚の出荷などに活用されます。

浜の皆さんから「おうち」の疑問、質問、お悩みを募集しています。

宛 先：札幌市中央区北3条西7丁目1番地
北海道ぎょれん総務企画部広報担当
F A X：011-242-3543
メール：info@gyoren.or.jp

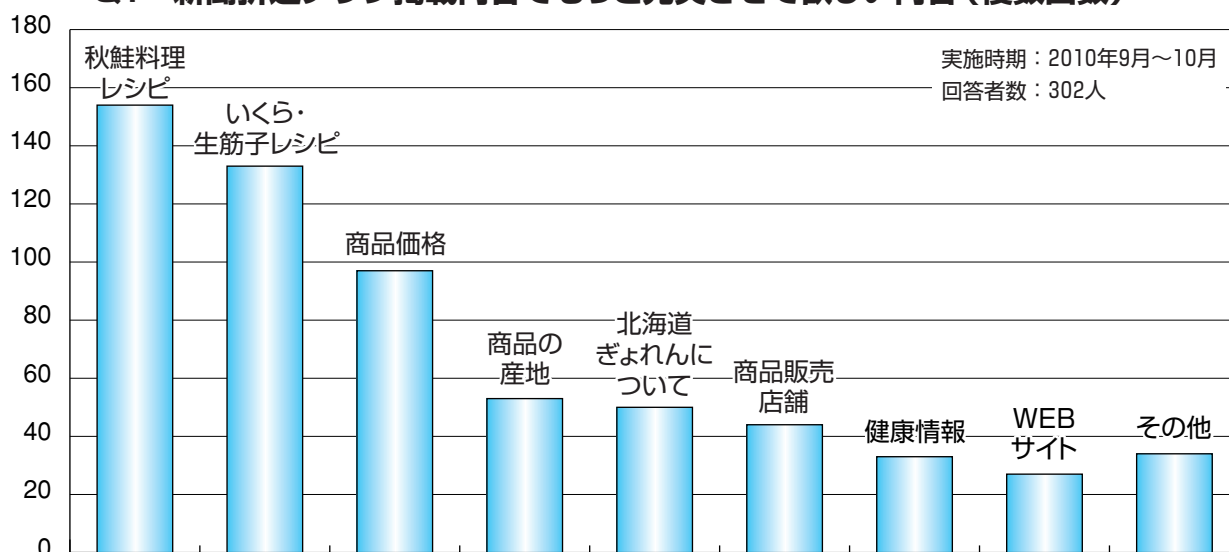
建築・設計に関するご相談は
(株)ぎょれん設計センター
TEL：011-281-8509

「秋鮭・いくら」販促に関するWEB調査

年間を通して全国各地で配布してきた秋鮭・いぐらの新聞折込チラシですが、それによりどれほど消費者の購買意識が向上したかを調査しました。こういった調査に基づくデータは、今後の宣伝・販促事業の方針を決定する上で重要な判断材料。今回はその調査結果の一部をご紹介します。

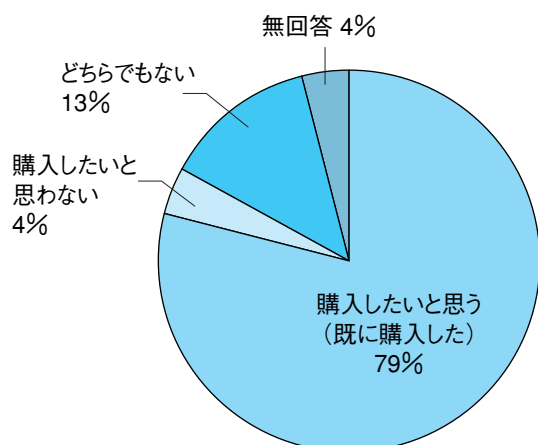
下の棒グラフは、生秋鮭・生筋子のチラシを配布した際、当該地域を対象に実施したアンケートの結果です。これによると、「秋鮭・いぐらのレシピ」を充実させてほしいという回答が高く、次いで「商品価格」の情報に対する興味も高いことがわかります。また、「産地情報」も比較的消費者が求めている事がうかがえ、一方で「健康情報」を選んだ人は1割強と意外な結果になりました。

Q1 新聞折込チラシ掲載内容でもっと充実させて欲しい内容（複数回数）

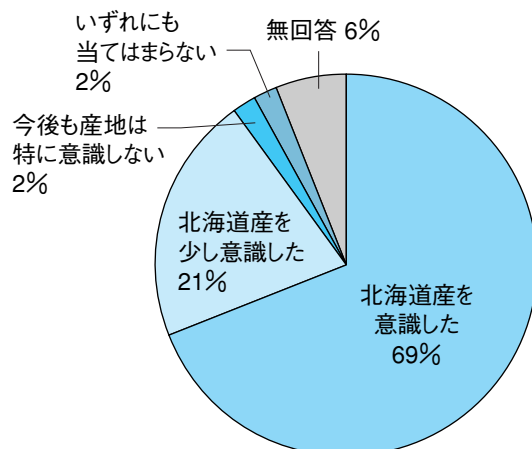


また、下の2つの円グラフはチラシを見た人の内訳になっていますが、秋鮭・いくらを「購入した・もしくは購入したい」と回答した消費者は約8割となっています。さらに、秋鮭・いくらを購入時に「北海道産を意識した」のは全体の9割に上り、Q1の結果同様に消費者にとって産地は購入決定の一要因になっているようです。

Q2 チラシを見て秋鮭や筋子を購入したいと思うようになったか



Q3 チラシを見て鮭・いぐらの産地を気にするようになったか



浜だより

3月11日に発生した東北地方太平洋沖大

地震により被災された皆様に、衷心よりお

見舞い申し上げます。被災された皆様が一

日も早く復興されることを、編集部一同、

心からお祈りしております。(編集部)

ひな祭りも終わって雛壇を箱に、来年も会いましょうと雛人形を湿気の入らぬように納めました。長女の祝いと安月給で買い求めた思い出は忘れられません。小さいがまだ若々しいお顔はそのままです。

(島牧村 泉谷 泰三さん)

先日、宗谷管内女性部大会に参加させていただき、本当に浜のお母さん達のパワーと勇気を実感しました。また来年会える日を楽しみにしています。日一日と春がやってきます。楽しみです。

(利尻町 川端 栄子さん)

春がもうそこまで来ているけどなかなか暖かくなりませんね。今年は雪が多いようですので、太魚になるといいですね。

(せたな町 今 美代子さん)

いつまでも風が冷たいですね。でも雪の消え方が早く春だなあと感じます。寒くなったり暖かくなったり大変です。

(函館市 佐藤 芳雄さん)

東北関東大震災では多くの犠牲者や大きな被害が出て、心が痛みます。1日も早く復興されることを祈るばかりです。

(豊浦町 竹島 暁子さん)

東北関東大震災のニュースを見るたびに南西沖地震で被災したことを思い出し、被害に遭われた方々の心情を思い浮かべます。あの頃、私たちはもうダメだと思いました。皆様の暖かいお助けをいただき、立ち直ることが出来ました。今度は私たちが被災された方々に少しでもお力になれたらいいなと思っています。

(島牧村 小倉 陽子さん)

窓の外からみえる海。この海から恵みを受けて生活している漁業者。今回の津波の恐ろしさに声もありません。今、私たち一人ひとりが何かを学ばなければならぬのです。

(利尻富士町 中西 寛子さん)

3月11日の東北沖地震により厚岸はとも被害を受けました。力キやあさは流されてしまい、漁業に関係ある人たちはこれからが大変です。

(厚岸町 運上 智子さん)

春の足音、もう少しです。自然いつぱいの地で育った私には今回の地震がすごくショックです。人ごとではないですね。

(利尻富士町 一橋 莉子さん)

14pの間違ひさがしの答え



海難事故 起きてからでは遅い 安全意識

(社) 北海道漁船海難防止・水難救済センター



とぎ汁で海を汚さない、おいしい無洗米です。

大漁御膳

ホクレン

ぎょれん

無洗米「大漁御膳」のお求めは、お近くの漁業協同組合へ

ぎょれんグループ

専門のノウハウ 浜に密着した機動力

漁業資材・施設設備で北海道の浜をサポート

マリノサポート株式会社

本社 TEL (011) 261-0884 函館支店 TEL (0138) 22-4146 釧路支店 TEL (0154) 41-7145 長万部営業所 TEL (01377) 2-4118

なるほど!簡単!

浜料理

浜の家庭料理をご紹介します

ホタテと秋鮭で
つくる



ホタテと秋鮭の 簡単サクサクポットパイ

道産食材をふんだんに使った一品

今回は「ホタテと秋鮭の簡単サクサクポットパイ」をご紹介します。シチューの中には、ホタテ、秋鮭、たまねぎ、じゃがいも、牛乳、バター、チーズが入り、道産食材をふんだんに使った一品です。

レシピ

【材料】(4人分)

- | | |
|----------------|--------------|
| ・冷凍パイシート・・・適量 | ・塩・・・少々 |
| ・ホタテ・・・2個 | ・こしょう・・・少々 |
| ・秋鮭・・・2切 | ・小麦粉・・・適量 |
| ・たまねぎ・・・1個 | ・水・・・2カップ |
| ・にんじん・・・1/2本 | ・牛乳・・・1カップ |
| ・しめじ・・・1個 | ・バター・・・大さじ3 |
| ・じゃがいも・・・小3個 | ・きざみチーズ・・・適量 |
| ・シチューの素・・・1/2個 | ・卵黄・・・小さじ1/2 |

【作り方】

- ① 材料は全て一口大に切る。
- ② 切ったホタテ・秋鮭に軽く塩・こしょうをして、小麦粉をつけ余分な小麦粉は軽く落とし、バターで焼く。
- ③ 残りの食材でシチューを作る。
- ④ カップもしくはココットにシチューを盛り(耐熱性のある深い容器)、そこへホタテ、秋鮭、お好みできざみチーズを加える。
- ⑤ 解凍したパイシートを器の大きさに合わせて丸く伸ばしてふたをする。端はカップにぴったりつくように指で押さえる。
- ⑥ 表面にはけで卵黄を塗り、200度のオーブンで15分焼いて出来上がり。

〈シチューの作り方〉

- ① 鍋にバターを入れ野菜を炒める。
- ② 野菜の色が変わってきたら水をいれ、沸騰したら弱火にして10分煮込む。
- ③ シチューの素を入れた後に牛乳を混ぜる。
- ④ 塩・こしょうで味を調える。



いぶり噴火湾漁協
吉川 綾子さん



道産 間伐材使用
間伐で未来につなぐ北の森
本書の本文用紙は原料の一部に
道産間伐材を使用しております。

北の魚情報がぎゅー!北海道ぎょれんウェブサイト
www.gyoren.or.jp/